

## 地質科学関連学協会連合懇談会報告

2月7日(月)に懇談会を開催し、今後の活動について議論した。当面の計画としては、6月25日(土)に地質災害に関するシンポジウムを開催することとした。まとめを下に添付する。

### 地質科学関連学協会連合懇談会まとめ

開催日時 2005年2月7日(月) 13:00-16:00

会場 日本地質学会事務局

<出席者,順不同>

地学団体研究会(担当 柳澤 教雄:代理 宮地良典),東京地学協会(理事 盛谷智之),応用地質学会(井上大栄会長),岩石鉱物鉱床学会(委員 有馬 眞:代理 角替敏昭),古生物学会(大路樹生),情報地質学会(代理 坂本正徳),粘土学会(山崎淳司),地形学連合(委員 倉茂好匡),日本地質学会(齊藤靖二会長,担当理事 天野一男),

[議題]

#### 1.出席者自己紹介

#### 2.資料確認

- ・地質科学関連学協会連合創立集会議事録(2000年3月27日)
- ・地質科学関連学協会連合設立の主旨(2000年3月27日)
- ・地質科学関連学協会連合創立集会のご報告(2000年5月24日)
- ・地質科学関連学協会連合・日本学術会議地質学研究連絡委員会懇談集会議事録(2002年11月5日)
- ・「学術会議のあり方」へのパブリックコメント:地質科学関連学協会連合

#### 3.地質科学関連学協会連合設立の経緯説明,経過報告(天野)

#### 4.地質科学関連学協会連合の今後の活動について

- (1)惑星科学連合の現状についての紹介(斎藤)
- (2)運営体制について

- ・幹事学会:日本地質学会(天野一男)・日本岩石鉱物鉱床学会(有馬 眞)・日本古生物学会(大路樹生3月末まで)・東京地学協会(3月末に決定)・日本地学教育学会(松川正樹)・日本応用地質学会(野口達雄):かっこ内は担当者
- ・従来通り規約はつくらず,申し合わせに従って活動する。

- (3)自由討論

- ・連合の今後の活動を活発化する方向での意見が出され活発な討論が行われた。

#### 5.地質災害(中越地震)への対応について

- ・地質,地形,サイスミック,応用など分野横断的なシンポジウムを企画することとした。  
テーマ:地質災害を考える(地質科学からの提言)

日時:6月(6月25日(土))

場所:未定(交渉中)

対象:一般社会人、とくにマスコミおよび官公庁関係者によびかける。

後援:国交省,産総研,文科省等に交渉する。

#### 6.その他

- ・連合に関する情報は,関連学協会にその都度連絡するとともに,地質学会のウェブサイト,地質ニュースに公開する(従来の同意事項を確認)。
- ・GUPIから問い合わせのあった Amos Nur 氏の講演については協力する方向で対応する。